

別紙3

令和8年度 国分寺市立第九小学校 関係者評価(中間)

国分寺市立第九小学校 校長 宇田川 真

教 育 目 標

めざす学校像

めざす教師像

○深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子)

◎思いやりのある子(心優しく、助け合う子)

○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子)

○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校

○いじめのない、子供が安心して通える学校

○子供と地域社会を結ぶ学校

○学びと体力向上の喜びを与える教師

○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師

○けじめある指導を適切に行う教師

○誠意をもって外部応対できる教師

努力指標は4段階でご記入ください。

努力指標・成果指標の数値は4段階評定です。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	確認事項・今後の課題	学校関係者評価記入欄
知育德育	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充実、ICT機器の積極的活用、学習習熟度を高めるための家庭学習の計画的な提示	4		3		・ICT機器を積極的に活用することで、基礎・基本の定着を図ることができた。また、習熟度に応じた支援を意識することで、学習内容の理解を深める児童が増えた。 ・ICT機器の活用を行っているが、児童用端末の不具合が起り、学習進度に差が出てしまうことがある。 ・個別指導やICT機器を効果的に活用し、児童一人一人の習熟度に応じた指導を充実させていく。	・ICTの活用は必要であると思うが「積極的に活用」とはどの程度のものなのか？ICT活用による弊害の事例をしっかりと分析して、取り組んでいった方が良いと考える。正しく日本語を表現できない(文字を書くことも含めて)児童が年々増えている状況を見ると、心配になる。 ・ICT機器を活用した家庭学習の支援や、習熟度に応じたきめ細やかな指導により、子ども達が主体的に学ぶ姿勢が育まれていると感じる。今後も、基礎学力の確実な定着に向けて、家庭での学習習慣づくりも含め、連携していきたい。
		読解力の向上に基づく言語能力の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	4		3		・図書の時間を確保すると同時に、教室での読み聞かせ活動に重点的に取り組んだ。本が好きな児童が次第に増えてきている現状は取り組みの効果といえる。 ・読書活動を通して得たことを文章でまとめたり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたりする力に課題が見られ、言語能力のさらなる育成が必要である。 ・読書後の感想や自分の考えを書く機会、本の紹介や話し合い活動を充実させることで、自分の思いや考えを文章や言葉で分かりやすく表現する力の育成を図っていく。	・限られた全体の時間の中で、読書を楽しむ時間を子ども達に保障することは、なかなか難しいことであると思う。まず、内容をどう理解させるかより、本に触れる時間をたくさん作ることが、言語能力を育てる近道と考えます。 ・読書活動により本好きな児童が増えている成果を素晴らしいと思います。表現力や伝える力の課題に対し、感想を書く機会や話し合い活動を充実させる方針に賛同します。家庭でも子どもの思いを聴く機会を増やすなど、学校の取組を後押ししていきたい。
	豊かな人間性の確立	けじめある学校生活	計画的な授業の実施、学習規律の確立、あいさつの励行、「九小の約束」の徹底	4		3		・「九小の約束」についても、学年全体で継続的に指導したことで、児童が共通のルールを意識して学校生活を送る姿が見られた。 ・全体で取り組もうとする意識は高いが、個人で守れているかは定かではない時がある。いけないことの理解はしているが、行動が伴っていない児童もいる。 ・教師が一方向的に指導するのではなく、児童とともに考えながらルールの徹底を図っていくようにする。できていない児童ばかりではなく、できている児童を全体で価値づけていくようにする。	・共通のルールをもとに、学校全体で意識を高める取り組みが行われていることを、心強く思う。一部で見られる課題に対しても、子ども達自身が考えて行動できるよう、粘り強く寄り添う姿勢に感謝をしている。
		思いやりと感謝の心の育成	児童理解のための教員研修、考え、議論する道徳授業の充実、縦割り班活動、「九小タイム」の充実	4		3		・九小タイムでの異学年との交流で、下の学年のことを考えた遊びの計画などができている。 ・ふとしたときの「ありがとうございます」「おねがいします」などの言葉を大事にさせたい。 ・今後も生活指導夕会を継続し、支援を必要とする児童について教員間で情報共有を密に行い、一貫した支援体制を構築していく。また、道徳では児童が多様な考えに触れながら主体的に考え、議論できる授業づくりを一層充実させる。	・「思いやりと感謝の心」の育成において、縦割り班活動や学年を超えた交流が形骸化せず、子ども達の主体性を引き出す工夫がなされている点に、学校の温かい教育方針を感じる。
健全育成	健康でたくましい心身の育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養士・調理員との交流	4		3		・栄養士との連携で給食の配膳の仕方を学んだり、給食室へのワゴンを取りに行くときに、実際に給食をつくってくれた調理員とのかわりを通じて、食への理解を進めた。 ・給食をよく食べる児童が多いが、偏食や小食の児童も多くなる。事前に減らして完食を目指せるようにしている。食べたことのないものに対しての苦手意識も強い(新メニューなど) ・残菜を減らすための声かけや給食委員会の取組を効果的にしていく。 ・学級の実態に応じた「もくもくタイム」の時間などを活用し、完食することや栄養について考えていくことを目指す。	・食育の充実や、中休み・昼休みに外で元気に遊ぶ習慣づけなど、健康な体づくりが学校全体で推進されていることを心強く思う。 ・1年生では、そら豆むき、トウモロコシむき 2年生ではたけのこ掘り、ブルーベリー摘みを行い体験しながら食育を促している。 ・実際に作物をそだてたり、収穫することによって食への興味、感謝することができている。 ・日々新しいメニューを考案し、国分寺野菜を使ったり、完食を目指すメニュー作りに取り組んでいる。
		体力増進に向けた活動の充実	運動量の確保を目指す体育学習、「九小ギネス」～長縄跳び、学級での休み時間の取組、外遊びの推進	4		4		・体育の時間では、運動量を確保することができている。休み時間にはほとんどの児童が外に出て元気に遊ぶことができている。 ・休み時間に一部の児童が、外に出たがらない状況がある。 ・今後も、外遊びを推奨する。また、クラス遊びを充実させるなど、昼休みも外で、楽しく遊べる環境を作っていく。	・休み時間に外で元気に遊ぶ児童が多いという成果を誇らしく思います。外に出たがらない児童に向けて、クラス遊びの充実など、楽しく外に出られる工夫をされる方針に期待しております。家庭でも健康な体づくりへの意識を高められるよう連携していきたい。
		児童の危機意識の向上	地域との連携を図る避難訓練、登下校訓練、定期の安全指導・朝会・安全点検、危機回避能力の育成	4		3		・避難訓練は毎回、緊張感をもち、取り組むことができている。一方で廊下を走るなど危機回避能力には課題がある。 ・学校へ登下校する際に、行ってはいけない場所に行ったり、フェンスを上るなど危険な行動をする児童がいる。 ・安全について継続して伝えていく。登下校時や校内で、安全にルールを守って歩行できるよう、引き続き指導をしていく。	・避難訓練や登下校時の安全指導についても、地域と連携しながら危機意識を高める取り組みが徹底されており、保護者としても安心して任せられる。 ・登下校中の歩き方など身近に危険があることを児童により考えて欲しい。 ・避難訓練は回数を重ねるごとに上達している。
地域連携	保護者・地域との連携	体験的な学習の充実	学校運営協議会として、地域の人材やボランティア、教材を活用した学習や体験的学習を取り入れた授業実践の充実	4		4		・学校運営協議会との年間予定を見通した打ち合わせや、サポーターの方々との連携や人材の調整が十分にできている。 ・ボランティアのサポートのお陰で、行事などの活動がより充実している。 ・農園での活動や、実際に見学に行ったりインタビューしたりする経験を通して、学習内容を身近に感じることができている。 ・年度ごとに実態が異なることや、特に高学年は余剰が少ないので、内容の精査が必要。	・年間指導計画の中にしっかりと組み込んであること、外部人材との打ち合わせが丁寧に行われていること、授業の中身の検討もしっかりと行われ、児童も教員も当日の授業を楽しんでくださることが、継続に繋がっています。教科担任制になり、時間の調整などが難しいと拝察しております。 ・学校運営協議会を通じた地域人材の活用や、九小ブログ等でのタイムリーな情報発信により、学校の様子が非常によく伝わっている。 ・体験的な学びを進めるために、地域の方をお招きして子どもたちの学びの場を提供している。戦争体験の講和は、話を聞ける機会がのこりわずかな貴重な時間となっています。 地域と学校が繋がるよう先生方の要望にも応えていきたい。 ・九ちゃん農園が近くなったことにより、より身近に作物の成長を感じることができるようになった。いい体験ができている。
		教育活動の公開や情報発信	学校の教育活動に関する分かりやすい情報発信	4		3		・九ちゃんブログで定期的に活動内容を発信できている。また、学級だよりや学年だよりを使って、児童の様子を伝えることもできている。 ・連絡帳やテトルなどを有効に活用し、保護者との連携を深めていく。	・読んでみたくなる、内容に引き込まれる学校だよりを望むのは難しいでしょうか。学校の教育活動の情報発信としては、もう少しレベルアップを望みます。 ・ブログや学年だよりによる定期的な情報発信のおかげで、学校の様子がよく分かり、感謝している。今後に向けて「テトル」などを活用し、保護者との連携をさらに深めていくという方針に大変期待している。家庭側でも迅速な確認や共有に努め、緊密に連携していく。 ・九ちゃんブログの充実はずごい。 ・九ちゃんブログで各学年の活動、様子がとてもわかりやすく発信できている。保護者の安心にもつながる。より多くの人によんでもらい、九小を知ってもらいたいと思う。
	化働と向上の実効の率	時間外在校時間を月45時間以下	会議の精選・勤務時間内における打ち合わせ時間の確保 各行事実施案の質を向上させ、時間外在校時間の削減 時間外における保護者等の面談の時間の削減	4		3		・行事や内容の精選・厳選をさらに進めると同時に、優先順位を考えた業務推進を心がけたが、必要な業務内容が多く、時間外在校時間を適切な量にすることが難しかった。 ・取り組むことの優先順位をつけたり、学年でより効率的にできる役割分担を行ったりして、目標に迫れるようにしたい。	・業務内容の効率化と精査を進めると同時に、働く側の連携もさらに深まるよう望みます。 ・先生方の「時間外在校時間の削減」への取り組みについても、持続可能で質の高い教育環境を維持するために不可欠であると理解している。PTAとしても、行事の精選や効率化など、協力できる点をともに考えていきたい。